



## Wide Area Bonjour の設定

Cisco Wide Area Bonjour ドメインは、従来の LAN および WLAN ネットワークの単一の IP ゲートウェイを超えたグローバル サービスルーティングを可能にします。Cisco Wide Area Bonjour ドメインでは、Cisco Catalyst LAN スイッチはレイヤ 3 ルーテッドモードで展開され、ネットワーク全体に分散される SDG エージェントとして機能します。これらの SDG エージェントは、Cisco DNA Center との間で TCP ベースのステートフルで信頼性の高い軽量の通信チャネルを構築します。Cisco DNA Center は、ポリシーベースのグローバルサービスの検出と配信のために、Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションを使用して設定する必要があります。

- [LAN および WLAN ネットワーク向け Wide Area Bonjour の制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [Wide Area Bonjour LAN および WLAN ネットワークに関する情報 \(1 ページ\)](#)
- [LAN および WLAN ネットワーク向け Wide Area Bonjour の設定方法 \(2 ページ\)](#)
- [LAN および WLAN ネットワーク向け Wide Area Bonjour の確認 \(5 ページ\)](#)
- [LAN および WLAN ネットワーク向け Wide Area Bonjour に関するその他の参考資料 \(5 ページ\)](#)

## LAN および WLAN ネットワーク向け Wide Area Bonjour の制約事項

管理ポートを介した Cisco DNA Center と Catalyst SDG エージェントスイッチ間の Wide Area Bonjour サービスルーティングはサポートされていません。代わりに、スイッチ ループバック インターフェイスを使用することを推奨します。

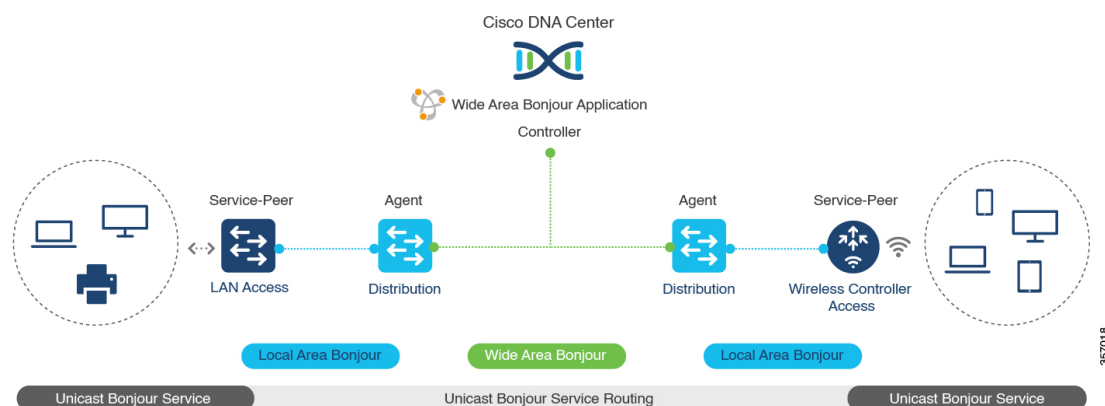
## Wide Area Bonjour LAN および WLAN ネットワークに関する情報

Wide Area Bonjour は、定義上、ネットワーク境界のない IP ネットワークを介した サービスルーティングを可能にします。したがって、Cisco Wide Area Bonjour の主な目的は、必要に応じて、ローカルまたはリモートサイトに限定されたグローバル IP ネットワークで Bonjour サービスをアドバタイズおよび参照することです。通常、SDG エージェントモードで展開された LAN お

よびワイヤレス LAN IP ゲートウェイでは、Wide Area Bonjour サービスルーティング用の Cisco DNA Center へのステートフル TCP ベースのユニキャスト接続が構築されます。

サービスルーティングの基本は、Local Area Bonjour および Wide Area Bonjour ドメインで定義されたポリシーに基づいています。このポリシーでは、SDG エージェントおよび Cisco DNA Center で mDNS サービスを受け入れ、処理、および応答するための暗黙のガイドラインを定義します。サービスポリシーには、詳細なネットワークロケーションとともにサービスプロバイダー情報を明確に分類および配信するための複数のタブが含まれています。次の図は、Cisco Wide Area Bonjour のエンドツーエンドの参照ネットワークモデルを示しています。

図 1: Cisco Wide Area Bonjour ドメイン



## LAN および WLAN ネットワーク向け Wide Area Bonjour の設定方法

ここでは、LAN および WLAN ネットワーク向け Wide Area Bonjour の設定方法について説明します。Cisco Wide Area Bonjour を設定するには、Cisco Catalyst シリーズ スイッチを SDG エージェントモードで設定し、Cisco DNA Center の Wide Area Bonjour アプリケーションでサービスポリシーを作成する必要があります。

### Cisco Wide Area Bonjour サービスポリシーの設定

Wide Area Bonjour エクスポート サービス ポリシーを作成して適用し、サービスルーティングを有効にするには、次の手順を実行します。



(注) コントローラバインド サービス ポリシーには入力サービスポリシーは必要ありません。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device> <b>enable</b>	特権 EXEC モードを有効にします。 プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Device# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	<b>mdns-sd service-list service-list-name {in   out}</b> 例： Device(config)# <b>mdns-sd service-list WIDE-AREA-SERVICES-LIST-OUT out</b>	発信 mDNS サービスリストを設定して、1 つ以上のサービスタイプを分類します。 着信 mDNS メッセージおよび要求側エンドポイントへの発信応答を処理するには、一意のサービスリストが必要です。
ステップ 4	<b>match service-definition-name [message-type {any   announcement   query}]</b> 例： Device(config-mdns-sl-out)# <b>match APPLE-TV</b> Device(config-mdns-sl-out)# <b>match PRINTER-APPS</b>	発信サービスリストをチェックして照合します。スイッチは、ローカルで検出されたサービスをエクスポートし、Wide Area Bonjour ドメインからリモートサービス情報を要求します。サービスアナウンスメントおよびクエリ要求は、許可されたサービスタイプ、組み込みサービスタイプ、またはカスタムサービスタイプに基づいて処理されます。 サービスリストの最後に暗黙的な拒否が含まれています。 発信サービスリストの場合、 <b>message-type</b> は必要ありません。
ステップ 5	<b>mdns-sd service-policy service-policy-name</b> 例： Device(config)# <b>mdns-sd service-policy DNAC-CONTROLLER-POLICY</b>	一意の mDNS サービスポリシーを作成します。
ステップ 6	<b>service-list service-list-name {in   out}</b> 例： Device(config-mdns-ser-policy)# <b>service-list WIDE-AREA-SERVICES-LIST-OUT out</b>	各方向のサービスリストに関連付ける mDNS サービスポリシーを設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 7	<b>end</b> 例： Device (config-mdns-sd) # <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。

## Cisco Wide Area Bonjour サービスルーティングの設定

Wide Area Bonjour エクスポート サービス ポリシーを作成して適用し、サービスルーティングを有効にするコントローラパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device> <b>enable</b>	特権 EXEC モードを有効にします。 プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Device# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 3	<b>service-export mdns-sd controller controller-name</b> 例： Device (config) # <b>service-export mdns-sd controller DNAC-BONJOUR-CONTROLLER</b>	Cisco DNA Center で Wide Area Bonjour サービスルーティングを有効にするようにサービス エクスポート コントローラを設定します。 設定できるサービスエクスポートは1つだけです。
ステップ 4	<b>controller-address ipv4-address</b> 例： Device (config-mdns-sd-se) # <b>controller-address 100.0.0.1</b>	Cisco DNA Center の IPv4 アドレスを割り当てて、サービスルーティングをペアリングします。 設定できるコントローラアドレスは1つだけです。
ステップ 5	<b>controller-source-interface interface-name</b> 例： Device (config-mdns-sd-se) # <b>controller-source-interface Loopback0</b>	SDG エージェントおよび Cisco DNA Center からサービスルーティングを構築するように送信元インターフェイスを設定します。 ループバック インターフェイスを使用することを推奨します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	<b>controller-service-policy</b> <i>service-policy-nameout</i>  例 : Device (config-mdns-sd-se) # <b>controller-service-policy</b> <b>DNAC-CONTROLLER-POLICY out</b>	Wide Area Bonjour サービスルーティングのコントローラバインド出力 mDNS ポリシーを関連付けます。
ステップ 7	<b>end</b>  例 : Device (config-mdns-sd-se) # <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。

## LAN および WLAN ネットワーク向け Wide Area Bonjour の確認

LAN および WLAN ネットワーク向け Wide Area Bonjour を確認するには、次の **show** コマンドを使用します。

- **show mdns-sd controller detail**
- **show mdns-sd controller export-summary**
- **show mdns-sd controller statistics**
- **show mdns-sd controller summary**

## LAN および WLAN ネットワーク向け Wide Area Bonjour に関するその他の参考資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco DNA Center Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションユーザー ガイド	<a href="#">Cisco DNA Center Cisco Wide Area Bonjour アプリケーションユーザー ガイド リリース 2.1.2</a>
Cisco Catalyst 9800 WLC での Bonjour 向け Cisco DNA サービスの導入	Cisco Catalyst 9800 Series Wireless Controller Software Configuration Guide



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。